

むかし、あるところに、男とおかみさんがいました。子どもがないので、一生懸命神さまにお願いしましたが、いっこうに授かりません。やっと生まれたかと思っても、すぐに死んでしまいます。

ある人が、

「名前が短いからじゃないか。長い長い名前をお付けなさい」と教えてくれました。そこで、男とおかみさんは、つぎに子どもが生まれたとき、長い名前を付けました。それは、こんな名前でした。

へーとこ へーとこ へーがーのーこ、かめー えんめー しきしきだいはんや、かーみのちようのー、たーばーたーばー、いっちようぎりか ちようぎりか、いっちようちようぎり、もくろくさんぶの ちよっぼういん

その子は大きくなって、近所の子どもたちと遊ぶようになりました。

ある日のこと、外で遊んでいるとき、その子が、井戸に落ちてしまいました。近所の子どもが、

「おうい。へーとこ へーとこ へーがーのーこ、かめー えんめー しきしきだいはんや、かーみのちようのー、たーばーたーばー、いっちようぎりか ちようぎりか、いっちようちようぎり、もくろくさんぶの ちよっぼういん」と呼んでいるうちに、あんまり名前が長かったので、その子はおぼれて死んでしまいましたとき。

おしまい

村上郁再話